

古今東西 くんぐん 行きます!

郡市長がさまざまな現場を訪問し
市民の皆さまの活動の様子な
どをお伝えします



先月に引き続き、のびすく宮城野で、宮城野区を中心に子育て支援に取り組む方々と懇談した模様をお届けします。

子ども達の笑顔を目標に 「ぞうさんの家」

NPO法人「ぞうさんの家」は、障害のある小学1年生〜高校3年生までを対象とした通所支援事業として放課後等デイサービスを行っています。放課後や夏休みなどに、6〜10人の子どもたちが、粘土や絵画、工作などの造



▲のびすく宮城野で。赤ちゃん（あかちゃん）の笑顔に癒やされ、私も元気になりました

形活動を楽しんでいます。

「子どもたちにとって最大の教育環境は私たち支援員である」をモットーに、障害を理解と支援が必要な個性と捉え、造形活動を通して自己肯定感や自尊感情を育みたいと考えています」と理事長の木村秀三さん。一人一人の思いに寄り添いながら、褒めることを大切に、子どもたちがゆったりと時間を過ごす中で笑顔になってほしいとのこと。充実した時間を過ごした子どもたちの笑顔は、保護者にとっても何にも代え難い力を与えてくれますね。

「今後は造形活動で培った力を生かせる場をつくりたい」と、木村さんは力強く語ってくださいました。

3世代が集う「子育てサロン・つるがや」

「子育てサロン・つるがや」は、平成18年から鶴ヶ谷東地区で、親子一緒のおしゃべりや友達づくりができる集いの場を開催しています。「予約のいらないサロンで、毎回10〜15組の親子が来ています。みんなで体操をしたり、お茶を飲んだり。スタッフの民生委員も近所のおじいちゃん、おばあちゃんのような感じで接しています」と主任児童委員の宍戸淳子さん。

普段、子どもと2人きりで大人と話す機会がないというお母さんたちだけでなく、スタッフも子どもたちと接し

て元気をもらっているとのこと。小学校の入学式などに参加して、子どもたちの成長を実感することもあるそう。

地域ぐるみでの子育ての重要性が言われて久しいですが、10年以上も前から地域で子どもたちを見守り、子育て家庭を支援する取り組みを続けていらつしやるのは素晴らしいですね。

社会全体で子育てを応援するまちへ

核家族化や地域のつながりの希薄化などにより、子育ての不安や負担感を抱える人は少なくありません。その中で行政の手の届かないところを高い志で担っていただいている皆さんに、深く感謝いたします。そして、仙台のまち全体が、子どもと子育て家庭をしっかり支え、子どもたちが心身共に健やかに成長していくことのできるまちになるように推進していきます!

団体紹介②

NPO法人ぞうさんの家

障害のある児童・生徒を対象とした放課後等デイサービス事業を実施／ホームページ<http://zousannoie.jimd.o.com/>

子育てサロン・つるがや

鶴ヶ谷東地区民生委員児童委員協議会が、月2回、0歳〜未就園児と親のサロンを開催



木村秀三さん



宍戸淳子さん